



なんばに生まれた
“地球駅”“空の新時代ステーション”

OCAT

OSAKA CITY AIR TERMINAL
大阪シティエアターミナル



レポーター●永木和栄

都心で国際線のチェックインができる施設というので、ちょっと前には新聞などで大きく報道されていた「OCAT」。しかも聞くとところによると、ショッピングやグルメも楽しめるお店がいっぱい。誰でも気軽に海外旅行にでかける時代、もしかすると、ここが今関西でもっとも 트렌ディなスポットかもしれない…。この春、なんばにオープンしたOCATを訪ねてみました。

TRENDY
トレンド関西
KANSAI

都心の玄関・OCATで国際線のチェックイン!

建物全体を外から眺めた時、まず思い出したのが、イタリアやドイツなどの鉄道の古いターミナル(駅)です。もちろん建物は真新しくモダンな装いなのですが、その重厚なフォルムが、ヨーロッパの歴史的建造物の代表のひとつであるターミナルの印象を私に与えるのかもしれない。

さて、さっそくチェックインカウンターのある一階のロビーを覗いてみました。入り口には例のX線手荷物検査の装置、その横には手荷物検査会社の職員の方がいてモニターをじっと見つめています。カウンターは全部で30、うち20が個人旅行客用で、10が団体旅行客用とのこと。カウンターでは航空会社の女性職員が仰向きで対応、航空券を提示してボーディングカードを受け取り、預けた手荷物はベルトコンベア

で奥の方へ運ばれていきます。もちろんここで預けた手荷物は海外の目的地の空港に直接届くわけですね。スゴイ!

カウンターの職員の方の話によると、現在、このOCATでチェックインできる航空会社は7社。日本航空、全日本空輸、日本エアシステム、日本アジア航空、大韓航空、アジアナ航空、オーストラリア航空。営業時間は6:15~18:00。チェックインの締め切り時間は航空機出発の2時間半前とのこと。

チェックインロビーの様子を眺めていると、何だかもう開空にいるような錯覚を起こしてしまいそう…。

「世界旅の情報ステーション」でちょっと世界とアクセスしてみる

ところで開空までのアクセスについてですが、地下1階のJR難波駅から開空快速で52分、そし

て2階のバスターミナルからはリムジンバスで50分です。この「OCAT」全体を運営している(株)淡明開発センターにお話をうかがったところ「鉄道とリムジンバスの両方でアクセス可能な、日本では珍しいCAT」とのことです。CATとはシティエアターミナル(City Air Terminal)。もうCATは普通名詞になっているみたいですね。

この「OCAT」で海外旅行ファンなら絶対一度は訪ねておきたいところ、それは4階の「世界旅の情報ステーション」でしょう。そこには、海外の観光地を映像で検索できる「ビデオ・オン・デマンドシステム」、今話題の「インターネット」、世界の旅行関連図書を5000冊そろえた「書籍コーナー」、パソコンを利用した「バーチャルトラベルコーナー」、海外への旅行・赴任・留学に関する「コンサルティングカウンター」などが設けられているのです。しかもうれしいことに、利用はすべて無料!旅行前の情

報収集にバッチリ、また予定がたっていない人も楽しめる。こんなスポットがあるなんて私は知りませんでした。たぶん「えっ」と思っている人が多いでしょうから…。
営業時間は11:00~18:00、定休日は水曜日です。



旅立つまでの待ち時間もゆったり過ごせる「OCATモール」

OCATには空港支援施設だけでなく、商業施設「OCATモール」もあります。そこをとりあえずはひと回り。お店の数にはビックリ、全部で76店舗もあるのです。ざっと紹介すると、地下1階がコンビニエンスのフロア、1階と3階はアーバンファッションのフロア、2階はスポーツファッションのフロア、4階はCD&インポートファッションのフロア、5階が書籍とレストランのフロアです。

どの店でもとても洗練された商品やサービスが提供されていて興味深いのだけど、個人的に特に関心を持ったのは4階のCDショップ。アメ

リカ最大のミュージックショップチェーンの「Sam Goody」が本格大型店として日本で初めて出店したものとことです。ちょっとばかり音楽にうるさい私としては、これはちょくちょく探索に來なければなるまい、と密かにチェック。モール全体の印象をズバリいうと、旅好きのヤング・ヤングアダルトのための新しいスポットというところでしょうか。

よし、今度の海外旅行はぜひ「OCAT」を利用してみよう。そして待ち時間はこの「OCATモール」でゆったり過ごしてみよう。明日、さっそく有給休暇の残りを数えてみようーっ!



全体構想完成予想図